

■松永湾里海協議会・設立記念シンポジウムが開催されました！

11月17日、尾道市のしまなみ交流館で「松永湾里海協議会」の設立を記念したシンポジウムが開催されました。会場には、一般の方々や企業、学校関係者など約150人が集まり、松永湾のこれからについて一緒に考える温かい場となりました。松永湾は、かつてアサリが豊富にとれ、藻場が広がる豊かな海でしたが、いまはアサリの減少や藻場の消失が課題となっています。協議会は、行政・漁協・企業・市民が力を合わせ、再び豊かな海を取り戻すことを目指した活動が、令和7年度 戦略的「令和の里海づくり」基盤構築支援事業の一環として行われています。

シンポジウムでは、環境省 海域環境管理室の西川室長から「令和の里海づくり」についてご紹介、地域の思いやアイデアを生かした海の再生が進んでいることが紹介されました。続いて西嶋教授(広島大学)からは、海の栄養塩を適切に管理し、生きものが暮らせる環境を守る大切さや、科学的な知見に基づく管理を行うことの大切さが語られました。また、杉本教授(宇部高専)からは、岩国市で鉄鋼スラグを活用して藻場をよみがえらせた事例が紹介され、海の再生に向けた新しい可能性が伝えられました。

後半のパネルディスカッションでは、漁協、企業、大学、観光団体が参加し、「アサリをもう一度松永湾に」「市民みんなで海を育てたい」といった前向きな意見が交わされました。

協議会のスタートを機に、松永湾を次の世代へ引き継ぐための取り組みが本格的に動き出します。今後も「令和の里海づくり」を通じて、多くの市民の皆さんと一緒に松永湾の未来を育てていきたいと思ひます。



シンポジウムに先立って現地の案内を受ける西川室長



松永湾に関わる多様な主体が参加する協議会